

【 短 歌 。 俳 句 。 川 柳 】

本誌編集室担当

短 歌

菊の群原種混じりて咲きにけり

花の順番問ふこと難し

●宮古市 太田屋滋

もうだめだ周囲に退会ほのめかし

今日も草刈るもうすぐ八十

●富谷市 佐藤英克

見守りもフェイスブックにアップされ

いいねもらって皆やる気だす

●戸田市 久米壽彦

墓所銀座上野桜木谷根千は

色濃く残る明治が薫り

●朝霞市 林 則雄

香を頼り暮れ泥むみち金木屋

かおり優しく老体いやす

●松戸市 秋元輝美

仕事終え仲間の労いさわやかに

夕日を浴びて帰宅を急ぐ

●狛江市 根方一吉

市役所の一階ロビーに飾られた

切り絵講座の緻密な作品

●羽村市 中 新一

稲穂見に畦に散歩か若夫婦

手を携えて富士も頬笑む

●平塚市 田中博由

俳 句

赤い鶴三羽折りたる風の盆

●小山市 原田利江

いち日を風にゆだねて萩の花

●本庄市 長谷川千鶴子

仕事終え見あげし空やうろこ雲

●草加市 長谷部禎子

群がりて武蔵野国の彼岸花

●戸田市 篠崎志津子

畦道を歩くそばから虫の声

●戸田市 清水久雄

ローカルの車窓に乱舞秋茜

●戸田市 山田武乙

秋の灯や自肅の街の裏通り

●東京都大田区 小池弘一

名月を盥に浮かべ端居かな

●立川市 浅見 眞

喜寿迎え日々健やかな今朝の秋

●小金井市 飯田勝巳

人の世は長編ドラマ秋さびし

●長岡市 近藤 博

秋燕さよなら言わず軒淋し

●塩尻市 大家協治

蒼天の高み静けし鷹渡る

●塩尻市 奥原光夫

水引の朱色鮮やか月明り

●塩尻市 小野正平

四つ手網茜に染まり秋彼岸

●塩尻市 町田まさ子

駆除遁れ路端を飾る錦鶏菊

●可児市 井戸和秋

会員のひろば

かかげ持つ孫らのザルへ零余子採り

●野洲市 若松能夫

ちちろ虫草場の影に髭二つ

●福知山市 岫尾 充

秋晴れや畦道彩る彼岸花

●長岡京市 宮先一雄

大空をキャンバスにして秋桜

●伊丹市 磯部芳子

険しき顔コスモスゆれて笑顔に

●伊丹市 梅内弘子

荒地地いまコスモス百万本の波

●伊丹市 江口あや子

百の灯に百の秋来る団地かな

●伊丹市 白石かず

コスモスの野に吹かれつつカメラ持ち

●伊丹市 田村一仁

コスモスを生けて開店準備中

●伊丹市 山本典子

コスモスの一輪咲いて夫婦に和

●伊丹市 吉澤 忠

小さくとも水引の花赤々と

●伊丹市 和田庸子

秋冷の湖面を紡ぐ波の音

●普通寺市 和泉正美

庭師来て秋空高くして帰る

●宇和島市 清家 弘

苦も楽も過ぎて傘寿の敬老日

●佐世保市 岩倉美知子

野を歩く帰宅の裾にゐのこづち

●佐世保市 大町光代

車中にてコロナ禍の咳まわり見る

●佐世保市 大村須美子

植えて十年うこんの花のやつと咲き

●佐世保市 横田辰馬

タスキ掛け学童見守り秋桜

●日田市 星熊主一郎

川柳

かんだよボールは足元クラブ飛ぶ

●恵庭市 平原芳夫

落書きの近くは描かないバンクシー

●鹿沼市 大貫秀雄

宣言が解除いつきに人の渦

●熊谷市 金井 浩

来年も生きるつもり
の衣替え

●戸田市 栗原ハツ江

大地震階段使いダイエツト

●新座市 阿河孝雄

二回目は声が大きくなる家族

●鎌ヶ谷市 三浦章忠

忘れるが向学心は捨て切れず

●東久留米市 小野寺吉平

ワクチンを打ってすすきり旅に出る

●長岡市 高田吉伴

服汚れカレーうどんに罪被せ

●東大阪市 岡崎隆司

マスク禍でさんぽのあいさつ
供の犬見て

●大東市 柳田勝子

泣き笑い山谷越えて共白髪

●下松市 兼森照男